



米沢有為会 米沢支部だより

第 31 号

平成27年 8 月28日

発行者

(公社)米沢有為会米沢支部

支部長 安部三十郎

米沢市金池5-2-25

☎ 0238-22-5111

(公社)米沢有為会米沢支部総会を5月31日(日)午後3時からホテル・サンルート米沢で開催しました。議事では、支部会員について前年度より44名増加し652名になったと報告があり、支部決算を承認。27年度の事業計画案、収支予算案も原案通り可決しました。役員改選でも原案通りに承認、新常務理事に遠藤善則氏が就任しました。

また、我妻栄記念館の劣化改修工事の状況と8月末までの休館が報告されました。続いて支部表彰式が行われ、14個人と8団体に特別顕彰が贈られました。(詳細は次ページに)。

青少年の健やかな成長を願って



米沢市青少年育成市民会議
事務局 長

手塚 宮雄

昔から日本では「子は宝」と言われてきました。少子化が進む今日、次代を担う子どもたちは家庭や社会にとってますますかけがえのないものと考えられています。そして、青少年が心身ともに健やかに、人間性豊かに成長し、自立的、主体的に行動してくれることが私たち大人の願いとなっています。米沢市青少年育成市民会議は、この願いの実現に貢献しようと、これまで33年間にわたり活動してきました。米沢市教育委員会との緊密な連携の下、関係機関や団体、学校からも様々な支援をいただきながら、地域に根ざした青少年の健全育成の推進に努めております。

しかしながら、近年、青少年を取り巻く環境は大きく変化しています。少年非行の現状は、報道によると、全国的に、刑法犯少年はこの11年連続して減少しているものの、少年による凶悪事件や窃盗(万引)、いじめも依然多く発生しています。他方、児童虐待や児童ポルノ事件などで被害に遭う子どもたちも多くなっています。このような状況を受けて、山形県では平成25年度より「いじめ・非行をなくそう」や「またた県民運動」を展開しています。当市民会議も市内の全小中学校と協力していじめ・非行の根絶を目指した活動を行っています。また、市内17地区の青少年育成地区民会議など92の構成団体に呼びかけ、家庭や学校、PTA、地域、企業と連携して、成人向け図書調査や環境づくり懇談会、市民大会、地域活動交流会などを行っています。

こうした活動の中心となっているのは人生経験豊かな年配者たちで、まさに元気な「老人パワー」を発揮しています。そうした人々の活動の底流をなす内なる熱い思いは、子どもたちを行事に積極的に参加させることによって、子どもたちが自他を認め合い、思いやりの心や人を信頼する心を育み、人生の楽しさを味わい、いじめや非行を否定する人生観を身に付けてほしいとの願いではないかと思えます。

当市民会議は、今後も関係機関や団体、学校などと協力し、子どもたちがその個性や資質を存分に発揮しながら成長し、将来社会でたくましく生きることができるよう支援していきたいと考えています。

米沢有為会米沢支部だより

14個人・8団体を特別顕彰

支部総会に引き続き行われた表彰式では、表彰規則に基づき次の14個人・8団体が表彰されました。教育功労者・産業功労者は今回も該当がなく特別顕彰のみとなりました。

なお、本部表彰者は有為会誌で紹介されます。

受賞者は次の通りです。

(学校・学年は平成26年当時のものです。)



支部特別顕彰

▼松本 慧さん

(米沢二中2年)

全国中学校水泳競技大会飛板飛込・第8位 全国JOCジュニアオリンピックカップ飛板飛込・第6位 シンクロ飛込第6位 県中体飛板飛込・第1位 高飛込・第1位

▼長沼明音さん

(米沢四中2年)

東北中学校体育大会陸上競技女子共通800M・第2位

▼尾形有香さん

(米沢三中3年)

社会を明るくする運動作文コンテスト・県最優秀賞 青少年読書感想文山形コンクール・優秀賞ほか

▼菅野友紀さん

(米沢四中3年)

日本学生科学賞中学生の部・県最優秀(全国大会出品)

▼今井日奈子さん

(米沢四中2年)

ジュニアジャーナリスト100字コラムコンクール・大賞(全国第1位)

▼猪野陽太さん

(沖郷小4年)

読書感想画中央コンクール・優秀賞 県読書感想画コンクール・最優秀賞

▼伊藤悠音さん

(赤湯小6年)

県小学生陸上大会男子6年100M・第1位

▼赤湯小学校男子リレーチーム

伊藤悠音さん、佐藤賢明さん、竹田健史郎さん、島貫達也さん

県小学生陸上大会男子4×100Mリレー・第1位 全国小学生陸上交流大会4×100Mリレー・第4位

▼吉田百那さん

(糠野目小6年)

県少年少女スポーツ交流大会陸上競技小学女子800M・第1位

▼黒澤里菜さん

(中郡小6年)

県小学生陸上大会女子100M・第1位(全国大会出場)

▼佐藤 和さん

(宮内中3年)

長崎国体陸上競技少年少女B100Mハードル・準優勝 全国中学校陸上競技選手権大会女子100Mハードル・準優勝

東北中学校陸上大会女子走幅跳・準優勝ほか

▼高畠一中野球部

東北中学校野球大会・第3位

県中学校軟式野球競技・優勝

▼神保朱李さん

(高畠一中3年)

東北中学校柔道大会女子個人70キロ級・第3位(全国大会出場)

場) 県中学校柔道大会女子70キロ級・優勝

▼川西中学校男子ホッケー部

東北中学生ホッケー新人大会・優勝

▼川西中学校女子ホッケー部

東北中学生ホッケー新人大会・準優勝

▼高橋夢華さん

(南部小6年)

全国小学生陸上交流大会・出場 県小学生陸上大会女子80Mハードル・優勝

▼米沢興譲館高校フencing部

全国高校総合大会フェンシング競技女子学校対抗・第5位

▼松本 駿さん

(興譲館高2年)

東北高校選手権大会水泳競技男子高飛込・第2位 男子飛込総合・第2位

▼米沢商業高校ホッケー部

全国高校総合大会ホッケー競技大会・第5位 東北選抜ホッケー競技大会・優勝

▼九里学園高校陸上競技部

東北高校陸上選手権大会女子学校対抗の部・総合優勝

▼九里学園高校女子リレーチーム

石河遥香さん、村山詩織さん、高橋かおりさん、菊地葵さん、根本真理子さん

全国高校陸上競技大会女子4



×100Mリレー・第7位 日本ジュニア・ユース陸上競技大会女子4×100Mリレー・第6位

▼後藤美加さん

(米沢工業高校3年)

東北高校女子レスリング選手権大会フリースタイル49キロ級・優勝 全日本ジュニアレスリング選手権大会カデット女子の部フリースタイル52キロ級・ジュニアクイーンズカップ・レスリング選手権大会ジュニアの部フリースタイル49キロ級出場ほか

平成26年度 決 算

自 平成26年 4 月 1 日
至 平成27年 3 月31日

〔収入の部〕

項 目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②－①	摘 要
繰越金	329,844	329,844	0	
会 費	2,240,000	2,360,000	120,000	正会費 @7,000×97人＝ 679,000 賛助会員(個人) @3,000×357人＝1,071,000 賛助会員(法人) @10,000×61人＝ 610,000
諸収入	56	64	8	預金利子
〔収入合計〕	2,569,900	2,689,908	120,008	

〔支出の部〕

項 目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②－①	摘 要
1 本部費	1,120,000	1,180,000	60,000	会費納付金 2,360,000 × 1/2
2 事業費	480,000	333,165	△ 146,835	
教育奨励費	160,000	138,847	△ 21,153	特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	0	0	0	
講演会・交流会費	120,000	90,638	△ 29,362	講師謝礼及び交流いも煮会費
支部だより費	200,000	103,680	△ 96,320	支部だより印刷
3 管理費	670,000	447,691	△ 222,309	
事務費	120,000	120,000	0	常務理事報酬
会議費	10,000	0	△ 10,000	
総会費	70,000	44,552	△ 25,448	総会案内はがき印刷、案内郵送料等
通信運搬費	200,000	145,497	△ 54,503	理事会・本部総会案内・会誌等送料
印刷費	120,000	67,135	△ 52,865	封筒印刷等
諸手数料	70,000	50,212	△ 19,788	郵便振替手数料(会費振込分)等
消耗什器備品費	50,000	19,373	△ 30,627	プリンタラベル・流しゴム印代等
交通費	20,000	0	△ 20,000	
諸雑費	10,000	922	△ 9,078	弔電代(故松岸吉晴氏)
4 予備費	89,900	21,600	△ 68,300	ラジオCMスポンサー料金
5 次期繰越金	210,000	707,452	497,452	次年度繰越金
〔支出合計〕	2,569,900	2,689,908	120,008	

平成27年度 予 算

自 平成27年 4 月 1 日
至 平成28年 3 月31日

〔収入の部〕

項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①－②	摘 要
繰越金	707,452	329,844	377,608	前年度からの繰越金
会 費	2,540,000	2,240,000	300,000	正会費 @7,000×100人＝ 700,000 賛助会員(個人) @3,000×380人＝1,140,000 賛助会員(法人) @10,000×70人＝ 700,000
諸収入	48	56	△ 8	預金利子等
〔収入合計〕	3,247,500	2,569,900	677,600	

〔支出の部〕

項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①－②	摘 要
1 本部費	1,270,000	1,120,000	150,000	会費納付金 2,540,000 × 1/2
2 事業費	560,000	480,000	80,000	
教育奨励費	200,000	160,000	40,000	教育功労・特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	40,000	0	40,000	産業功労表彰状及び記念品等
講演会・交流会費	120,000	120,000	0	講師謝礼及び案内印刷、郵送料等
支部だより費	200,000	200,000	0	支部だより発行(2回)印刷、送料
3 管理費	730,000	670,000	60,000	
事務費	180,000	120,000	60,000	常務理事報酬
会議費	10,000	10,000	0	諸会議費
総会費	70,000	70,000	0	総会案内、資料印刷、運送料等
通信運搬費	200,000	200,000	0	理事会・会報・会誌等送料等
印刷費	120,000	120,000	0	案内葉書、封筒印刷等
諸手数料	70,000	70,000	0	郵便振替手数料(会費振込分)等
消耗什器備品費	50,000	50,000	0	各種消耗品、ゼロックス代等
交通費	20,000	20,000	0	各支部等交流旅費等
諸雑費	10,000	10,000	0	
4 予備費	200,000	89,900	110,100	
5 次期繰越金	487,500	210,000	277,500	
〔支出合計〕	3,247,500	2,569,900	677,600	

米沢有為会を支援します

ジーエスデザイン株式会社

代表取締役 福崎 真知子

今年9月17日、日本とスペインの交流のきっかけとなりました「支倉常長」の生誕の地、山形県米沢市に於いて、スペイン大使をお迎えし「支倉常長生誕祭」を執り行うこととなりました。

「支倉常長生誕祭」は、2013年6月・2014年7月にかけてスペイン国で開催された、日本スペイン交流400周年記念事業に敬意を表し、両国の永き平和を祈念する事業として、オール米沢の力と、ゆかりの地宮城県仙台市、石巻市、川崎町など地域を越えた方々のご協力で開催いたします。

2014年6月、東北の音楽アーティスト「Soul & Beat Unit 天地人」は、日西交流400周年に参加し、「トレド」「セゴビア」「マドリッド」「バルセロナ」の四都市において、「記念コンサート」を行ないましたが、その際岩手県知事から東日本大震災支援のお礼の親書、及び米沢市長からメッセージを託され、スペイン四都市の各市長へそれらの親書をお渡ししました。そして米沢市は、支倉常長が誕生から7歳まで過ごした「生誕の地」であることから、「天地人」は米沢関地区の「生誕の地」をスペインに持参し、トレド軍事博物館で行われた「桜植樹の交流記念事業」に於いてこの土を撒いて植樹を行い、終了後、トレド博物館館長から米沢において「桜の植樹」の提案があり、その際に撒く「土」を預かり帰国しました。

9月17日は、支倉常長生誕の地にこの土を撒いての「桜の植樹」、伝国の

杜にて「記念シンポジウム」、「記念コンサート」を行い常長の功績を顕彰いたします。今回米沢市において初めて開催されるこの事業は、スペインで周知されている氏の偉業をゆかりの地の方々とも共有することで、地方活性化にも繋げたいと企画したものです。

この企画は、前述の「天地人」が所属している音楽事務所の代表であり、米沢出身の名和玲子さんと私の出会いから始まりました。12年前に東京で偶然に出会い、その3年後に米沢法人会と渋谷法人会の女性部会が東京で交流会を実施、その席で、名和さんと再会いたしました。当社で運営しているご当地ヒーロー「アズマンジャ」のテーマソングは、「天地人」津軽三味線奏者の黒澤博幸氏が作曲、ヴォーカルはダニエルカール氏という夢のようなキャスティングにて完成しました。名和さんと私は、政治・経済ができない、「心」を大事にした新たな事業展開を「文化交流」にて繋ぎ、ミッシェンとして役目を認識し、産業の活性化を目的として企画を進めています。

当社は、平成元年7月に創業、大学生向けの「地域と学生を結ぶ情報新聞ザワワ」、「前田慶次瓦版」、地域ポータルサイト「よねざわネット」、夏休みの親子の思い出作りイベント「夏のおもしろなフェスタ」、葉っぱビジネス映画「人生いろどり」上映会等々、米沢が明るく、元気な町であり続ける為に、企画実施してまいりました。今後も地域活性化とは？をテーマに掲げ、わくわくする地元密着の企画・デザイン事業を展開してまいります。



株式会社ジーエスデザイン 代表取締役

宮坂 宏

弊社は元々「鯉の宮坂」という屋号で、創業以来ほぼ鯉料理一本で商いを続けてまいりました。しかし平成14年に発生したコイヘルペスウイルス（KHV）により、甚大な風評被害を受けました。そこで平成17年に社名を株式会社フーズに変更し、米沢牛や山形県産黒毛和牛、三元豚などの銘柄豚、その他地場産品など鯉以外の原材料にした惣菜を製造販売する分野に取り組んだのです。

弊社のコアコンピタンスは、創業16年の「煮炊き」の技術と、毎年最低5品目の新商品を投入している「商品開発力」にあります。また商品においては、安心・安全性の追求は当然のこと、化学調味料、合成保存料、合成着色料を使用せず、「煮る・炊く」を得意とする伝統に培われた技術を駆使し、手間暇を惜しまず手作りにこだわって皆様に喜ばれる商品をつくるために、技に磨きを掛けています。味についてもトップブライオリティを置き、「食べて感激、もう一度食べたくなる、人に褒めたいくなる」、そんな美味を追求したものづくりを務めております。おかげさまでまったくのゼロから始めた食肉加工製品の製



造販売ですが、現在では鯉製品のシェアに迫りつつあります。

今後米沢を代表する鯉と牛という2つの食材や、その他地産食材を機軸に、上杉・米沢の食文化の守り伝えることは元より、これまで市場になかった、安全で尚且つ美味しい新商品を創造することが一つ。もう一つは、自らの企業の発展を通して、お客様に感動と健康を与え、地域社会に少しでも貢献することを使命とし、これからは社員一丸となって頑張っていきたいと思っております。

最後になりましたが、米沢有為会では、長男が仙台、二男が東京の興譲館寮でお世話になりました。おかげさまで二人とも興譲館寮では、多くの良き友と思い出を得て社会人となりました。これも米沢有為会の育英事業のおかげです。今後は親である私が当会にご恩返しをしなければならぬと感じております。これからもご指導よろしくお願い致します。

編集後記

▼今年の夏は暑かった。そして熱かった。東北悲願の甲子園大会優勝へまた半歩、届かなかった。東北勢で春夏合戦で11度目の決勝進出。仙台育英に期待し、8回まで同点の素晴らしい好ゲームだった。

▼今大会は「東高西低」だった。近年の東北勢は躍進が著しく、山形県を含め確実にレベルアップしていると評価されている。百年を迎えた高校野球。近いうちに東北に優勝旗がもたらされる日を見たい。

(山)